

「マイ・タイムライン」を作しましょう

「マイ・タイムライン」とは、台風や大雨等の風水害に対する事前の準備や行動をあらかじめ記録し「予定表」にしておくことです。ご自宅の場所や家族構成によって、行動などが異なるので一人ひとりが作成する必要があります。

「いつ」、「誰が」、「何をするか」をあらかじめ決めておくことで、災害の危険が迫ったときに、落ち着いて避難行動を行うための目安となるものです。

○タイムラインの作成手順○

ステップ1 ハザードマップ（防災本）を確認します。

- 災害時に、ご自宅だけでなく、職場や学校がどの程度、危険なのかを確認しましょう。
 - 避難場所などへ行くまでの避難経路にも危険な場所がないかを確認しておきましょう。
- ※過去の災害や浸水履歴なども確認しましょう。

ステップ2 最寄りの避難所などを確認します。

ご自宅だけでなく、職場や学校の最寄りの避難所なども確認しておきましょう。

ステップ3 「わが家のハザードマップ」を作成します。（別紙1に記入）

自宅や職場から避難所までの避難経路や危険な箇所、所要時間を書き込んだ「わが家のハザードマップ」を作成しておくことで更に安全に避難することができます。

○「わが家のハザードマップ」の作り方

- 1 「自宅や職場から最寄りの避難所」などの位置関係を書き込みます。
- 2 「自宅などから避難所」などまでの避難経路を書き込みます。
- 3 実際に避難所などまで歩き、避難する際、危険箇所（河川、急傾斜地、側溝など）があれば書き込む。また所要時間も書き込みます。

ステップ4 避難に役立つ避難情報、気象（土砂災害）、河川に関する情報などを知っておきましょう。

水害による災害の危険性を知らせる情報には、主に3つの種類があります。

- 防災気象情報：各種注意報・警報や土砂災害警戒情報
 - 川の防災情報：河川の洪水予報・水位（国土交通省・埼玉県版）
 - 避難情報：エリアメール、防災行政無線、きらり川口情報メール、LINE 川口市公式アカウント、Yahoo!防災速報、テレビテータ放送画面
- ※きらり川口情報メール、LINE 川口市公式アカウント、Yahoo!防災速報は、登録が必要になります。

ステップ5 「マイ・タイムライン作成のためのチェックシート」を作成します。(別紙2に記入)

チェックシートには、下記を記入し、作成します。

○ 浸水に関する事項：浸水深、浸水継続時間

※浸水深とは、浸水した場合の地面からの深さです。

○ 避難に関する事項

1 避難する場所・所要時間

2 家族構成・状況（高齢者や乳幼児など）

3 ペットの有無

※ご自宅の場所・各家庭の状況や事情を踏まえて、避難行動や備えについて考えていきます。

ステップ6 「マイ・タイムライン」を作成します。(別紙3に記入)

最悪の事態を想定し、台風など発生から洪水発生までの間に、「いつ、誰が、何をするのか」を考えていきましょう。

○ 箇条書きした内容を時系列順に並べていく。

まずは、付せんを箇条書きにし、入れ替えなどが簡単にできます。

○ 各項目を整理し、シートに記入していく。

ステップ7 マイ・タイムラインは、定期的に見直しましょう。

家族構成や年齢など家族が変われば、「やること」「できること」も変化してきます。

年に一度は、マイ・タイムラインの内容を確認し、追加や変更などを対応しておきましょう。

○マイ・タイムライン使用時の心得○

心得① マイ・タイムラインで定めた「いつ」は、あくまで行動の目安として認識しましょう。

心得② テレビ、携帯、パソコンなどで、防災気象情報、川の防災情報、避難情報をこまめに収集・確認しましょう。

心得③ 収集・確認した情報をもとに、マイ・タイムラインを参考にして、臨機応変に非常持出品の確認や避難などの防災行動の実行を判断しましょう。